

# 情報公開文書

2024年7月2日

2014年4月1日から2024年3月31日までに当院救急外来で「くも膜下出血」の診断がなされた患者様へ

## 1. 研究の名称

救急外来で直ちに診断できなかつたくも膜下出血症例に関する要因の検討

## 2. 倫理審査と許可

日本赤十字社和歌山医療センターの倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

## 3. 研究機関および研究責任者の氏名

主任医療行為者名	塚野 圭	所属	研修医	職名	研修医
分担医療行為者名	福島 雅郁	所属	救急科・集中治療部	職名	医師
	久保 真佑	所属	救急科・集中治療部	職名	医師
	中 大輔	所属	救急科・集中治療部	職名	医師

## 4. 研究の目的・意義

この研究は、救急外来を受診し頭部CTを撮影したにもかかわらずくも膜下出血と直ちに診断できなかつた症例の特徴を調べることで、今後の救急外来でのくも膜下出血見逃し防止に役立てます。

## 5. 対象となる試料・情報の取得期間

当院救急外来で2014年4月1日から2024年3月31日までに当院救急外来で「くも膜下出血」の診断がなされた患者様が対象となります。

## 6. 試料・情報の利用目的・利用方法

カルテに保存されているデータを後方視的に収集します。データは匿名化して扱い、患者様の個人情報公開することはありません。

7. 利用または提供する試料・情報の項目  
利用する情報はカルテに保存されているデータ（年齢、性別、症状、意識状態、発症からの時間、来院時間帯、来院手段、救急医の介入の有無、出血部位、見逃し）です。
8. 利用または提供を開始する予定日  
研究機関の長の実施許可日から
9. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名または名称  
日本赤十字社和歌山医療センター 救急・集中治療科部 医師 福島 雅郁
10. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法  
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせいただければ、解析対象から削除します。
11. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に師匠が愛範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法  
他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、相談窓口までお知らせください。
12. 利益相反  
本研究に関する利益相反はありません。
13. 研究対象者等からの相談への対応  
日本赤十字社和歌山医療センター 救急・集中治療科部 医師 福島 雅郁  
masafumi.fukushima@gmail.com